



新型コロナウイルスにより山岳も登山自粛

長野県連より

2020年4月16日、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、2020年5月6日まで緊急事態宣言が発令されました。

感染が今後いつまで続くのか？終息していくのか？今は我慢の時です。

また緊急事態宣言が解除された後も、命にかかわらない不要不急の外出や3密を避ける状態がしばらく続くことが想像されます。

よって新型コロナウイルスが終息するまでは、山岳遭難事故防止の観点からも、登山に誘わない・誘われても断る・登山を促す行為は自粛すべきと思います。今は自分の命を守ること・自分の大切な人の命を守ることが最優先し、終息したら登山を楽しみましょう！

新型コロナウイルスが終息するまでは、理事会等の会議や県労山主催の行事は当面控え、メール等で連絡を取り合うことにします。（会長 春原貞勝）

山岳四団体声明文

令和2年4月20日

山岳スポーツ愛好者の皆様へ

新型コロナウイルス感染被害は拡大の一途をたどり、ついに緊急事態宣言対象地域が全国に拡大しました。山小屋の従業員を感染から守り、宿泊登山者の3密による相互感染を防ぐため、多くの山小屋やスポーツクライミング施設の閉鎖が相次いでいます。新型コロナウイルスは、潜伏期間が長い、感染しても自覚症状がでない、一度陰性になっても再度陽性反応がでる感染者が多く見られます。このような潜在的感染媒介者には若年・壮年層が多いのも特徴です。全国民が、外出制限、商業施設の相次ぐ閉鎖あるいは在宅勤務等々、日々逼迫した窮屈な生活を強いられています。このような現況下で、都市を離れ、清浄な空気と自然を求めての登山やクライミング行為は、出先の方々への感染を広め、山岳スポーツ愛好者自身が感染するリスクを高めます。この緊急事態に対処するには、山岳スポーツを愛する皆様の他者への思いやり、そして何よりご自身の感染防御に専心され、事態の収束を見るまで山岳スポーツ行為を厳に自粛していただきますよう、山岳四団体としてお願いいたします。山岳スポーツに係わるすべての皆様の緊急事態宣言へのご理解とご協力、感染拡大阻止に寄与し、この未曾有の感染危機が一日も早く収束することを願っております。近々事態が収まり、山で、岩場あるいはクライミング施設で皆様と再びお会いできる日を楽しみにしております。

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会・日本勤労者山岳連盟・
公益社団法人日本山岳会・公益社団法人日本山岳ガイド協会

山行報告

大姥山 (1,003m) 2020/4

参加者 秀さん・條さん・尾形・広一・五十畑・いくババ・文ちゃん・EIEI



報告…いくババ

国道 19 号から大姥山道路入り口で通行止めとなっていたので、登山口まで徒歩 50 分(復路も)かかってしまった(先日の雪の影響で倒木有)。往路の金太郎の散歩道は鎖場も多く急登だった。大穴も見学できた。頂上の東屋にて豚汁、焼肉で盛り上がった。もう一つのパーティー糸魚川労山の方と交流が出来た。復路の大姥の散歩道は倒木土砂崩れが多く注意が必要だった。分岐が不明瞭で、迷いやすいと思った。



ヒヤリハット

先日の雪で入口道路が通行止めになっていたが、下調べが不十分だった。復路、廃屋からの道を間違えて下り、尾形さんが気がついて 5 分ほど戻った。そのまま下っていたら、かなりの大回りとなっていたので、分岐の都度確認が必要だ

と思った。又他の分岐もわかりにくく、経験者が居ないと道迷いしそうだった。倒木、崖崩れが発生していて迂回等注意が必要だった。

糸魚川労山より

こんにちは～昨日は大姥山、お疲れさまでした。偶然の出会いでしたが、少しだけ交流できてよかったです。

ランチタイムでの“焼き肉”、美味しくいただきました。

当方参加者一同、感謝です。

ごちそうさまでした。ありがとうございました。



我が家の癒し・・・古畑家

5年ほど前に小さなエンゼルフィッシュを購入し水槽に入れました。ところが何と!!それまで居たグッピーを全て食い尽くしみるみる成長して今では15cmほどになりました。優雅な姿とはちがい気性の荒い所もある魚でした。



・・・津田家

初めまして。私がペコです。愛称ペコ。正しくはオレンジペコ2世と申します。先代は同じ柴犬でやはりペコと名付けられました。お茶好きのご主人様が紅茶葉の名から付けたとのこと。さて、毎日の私の仕事はご主人様の健康管理です。日々、散歩に連れ出しては運動不足を補ってあげています。これからもよろしく!!ペコ…代筆ご主人



山の本紹介 『ウェストンが来る前から、山はそこにあった』

鈴木 均

発行は初版が2014年、信濃毎日新聞社の信毎選書の1冊である。著者の菊池俊朗氏をご存じの方は、そう多くはないかもしれないが、信濃毎日新聞社に入社し、退職後山岳ジャーナリストとして活躍している。

この本は、タイトルにあるように、そして「地元目線の山岳史」という副題が示すように、いわば独自の登山史観で貫かれている。ウェストン批判ではなく（読後感としては、「ウェストン信奉者」への批判とも受け取れる）、帯にあるように『近代登山の父とされるW・ウェストンから、日本の登山は始まった』という風潮に忸怩たる思いを抱えてきた著者が、「登山者よ誤解するな！」とでも言わんばかりのトーンで書かれている。そこに違和感を覚える登山者もいるかもしれないが、私は著者に共感する。たとえば、「日本アルプス」という名称はウェストンが名付けたとか、日本の近代登山はウェストンからだと思っ込んでいる人々が実に多いからだ。山をやらない人でもウェストンの名前を知っている人はなぜか意外にも多いが、山屋でもガウランドを知っている人は少ない。ウィリアム・ガウランドは冶金学者・考古学者で、はじめて「日本アルプス」という呼称を使った。

なぜか、「ウェストン信奉者」が登山者にもいるが、上高地でのウェストン祭はとくに有名で梓川河畔にレリーフがあるのはよく知られている。ウェストンが日本各地の山に登ったことは事実で、各地に記念碑がある。船で到達した親不知の公園にもあるから驚いたことがある。白馬岳にも2度登ったようだが、白馬村には記念碑もなくウェストンにかかわるイベントもないのは不思議だ。

ところで著者が『山』の虚像を演出した2人とまで断言してはばからないのは、ウェストンと新田次郎である。新田次郎の登山小説は確かに面白いが、「虚像」のひとつの例が『剣岳点の記』で「架空だった測量隊と山岳会隊との登頂競争」など事実ではないことを新田次郎は小説にしたということだ。映画でも競争がひとつのテーマにもなっていた。新田次郎は多くの山岳小説を著したが、小説家はノンフィクション作家ではないので作品としての小説である以上虚構も織り交ぜることは当然だと思うが、著

者はそういうことを言いたいのではなく、新田次郎の小説を読んだ読者をしてそうだったんだと思いきませていることに苛立ちを覚えているのかもしれない。

第1章は、「信州教育の傑作、学校登山」である。これまた新田次郎の『聖職の碑』になる西駒（木曾駒ヶ岳）遭難など、興味ある中身である。何かで読んだが、他の著作もそうだろうが、新田次郎は『聖職の碑』を書くにあたって相当綿密な取材を重ねたようだ。長野県の学校登山の歴史は古いが、単純ではない。話は飛躍するが、最近満州開拓団の悲劇が注目され、なぜ長野県が全国で最も多かったのかが議論されることがある。これには信州教育が果たした役割もあると説く識者もある。つまり学校登山のはじまりも満州開拓の派遣も戦前の軍国主義と少なくとも無縁ではないという。長野県には「信濃教育会」という独特の組織があるが、長野県の教育の歴史は「信濃教育会」を抜きには考えられない。そして「信濃の国」という県歌があらゆる場面で歌われ、県民の「誇り」とされる。著者からは、それらについてのコメントはない。

いずれにしても、多くの山やさんに読んでいただきたい1冊である。

『銀嶺の人』（新田次郎）と『私の北壁』（今井通子）

鈴木 均

コロナ禍でやることは薪つくりと読書。

ずいぶん前に買っていた『銀嶺の人』を読んだ。今井通子がアルプス三大北壁（マッターホルン・アイガー・グランドジョラス）の登頂を新田次郎が小説化した。

今井通子は、恵まれた家庭環境だったとはいえ、すごい登山家だと改めて感じた。

新田次郎は、あとがきで「モデルは今井通子であるが、あくまで小説」と断っているように、今井通子本人の著作『私の北壁（マッターホルン）』とはいくつも違うところがある。『私の北壁』は淡々と描かれているが、『銀嶺の人』は当然小説的面白さがある。興味を引いたのは、加藤滝男（今井通子らに谷川岳等で登攀技術を教えた。弟の加藤保男は、エベレストに春秋冬に登頂しているが、その後消息を絶った）後にスイスに永住してスイス人女性と結婚、アルプスのガイドをしていた）が今井通子にプロポーズしたが今井通子が丁重に断っていたこと。これは『私の北壁』には出てこない。単なる小説なのか、プライベートな中身になるので、通子は触れていないのかわからない。『私の北壁』（続）は、アイガーとグランドジョラスを書いているのだが、そこで触れているかどうか、まだ読んでいないからことの真偽はわからない。

コロナで延期している大町労山総会は、 5月19日です。

出席できない方は、委任状を送付していただきますようお願いいたします。5月1日に会員のみなさんに往復はがきを送ります。

議案書と会費を当日お持ちください。なお、委任状の方は会費を次の郵便口座に振り込んでください。以前の口座とは変わっています。

記号 11140 番号 42608051

オオマチキンロウシャヤマノカイ 月 800 円です

